

活動の概要

活動主体：

天文学普及プロジェクト「天プラ」の活動
スタッフ10名が参加、サイエンスキャラバン311と協力

活動事例1：

2011年5月3-4日@岩手県宮古市、盛岡市
避難所にて天体観望会および天文教室の実施
のべ50名程度が参加

活動事例2：

2011年6月11日@岩手県大槌町
避難所にて天体観望会および天文教室の実施
のべ100名程度が参加

活動を通じて

・活動の手応え

被災地での活動の効果はさまざまな側面があると思うが、精神的なサポートの部分で大きな力になれると感じた。特に、積極的なコミュニケーションを取れた事に価値を感じた。これは、天文宇宙に非日常を演出する力があり、自然といろいろな事を語りやすい雰囲気を作り出せたのだと思う。

・反省点

異なる分野の複数の団体に集まって活動することの難しさも感じた。運営面の責任等をどう分担していくかは、長期の活動を前提に構築すべきだと感じた。

コミュニティへの要望

- 需要の創出

声をかければ来て欲しいと言ってもらえる感触を得たが、そもそも声をかけるのが難しい。直接の声掛けには限界があり、需要を創出するための仕組みが欲しい。

- 経済的サポート

赤い羽根募金やJST等さまざまな助成金があるが、他分野と競合するので、天文分野の活動に特化した経済的サポートがあると好ましい。

※写真は個人が特定されないもの、ないし、
許可をいただいたものをお送り下さい。



2011年6月11日
岩手県大槌町城山公園
昼間の太陽、月の観察

文責：高梨（天プラ）

※写真は個人が特定されないもの、ないし、
許可をいただいたものをお送り下さい

2011年5月4日
岩手県盛岡市
天体観望会、Mitaka上映